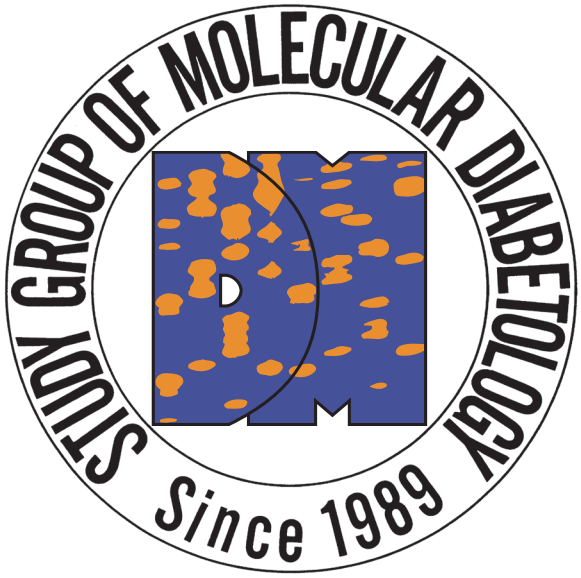
第37回 分子糖尿病学シンポジウム
プログラム



会　　期　2026年12月5日(土)
9:30～17:30

会　　場　和歌山城ホール
〒640-8156
和歌山県和歌山市七番丁25番地の1

代表世話人　森田 修平
和歌山県立医科大学 内科学第一講座

参 加 費　4,000円(大学院生/学生・初期研修医は無料)

共　　催　分子糖尿病学研究会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

後　　援　日本糖尿病学会

ホームページ　http://www.wakayamanet.or.jp/mol-dm

※ 会場内でのカメラ・ビデオによる撮影は厳禁です。ご協力お願い致します。

開会の辞　9:30 ～ 9:35　**森田 修平**（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）

セッション①　9:35 ～ 10:45　座長：**太田 康晴**（山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学講座）
五十嵐 正樹（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

①-1. ヒトiPS細胞由来ソマトスタチン産生δ細胞の分化誘導法創出

上田彩加[1]、佐々木周伍[1]、海陸雄一[1]、西窪英之[1]、山口大旗[1]、今田 侑[1]、宮下和幸[1]、河盛 段[1,2]、片上直人[1]、下村伊一郎[1]
大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科学[1]、
大阪大学医学部附属病院卒後教育 開発センター/大阪大学医学部医学科教育センター[2]

①-2. 腹腔常在マクロファージにおける糖尿病増悪因子の分泌機構

佐々木泉[1]、倉良あや乃[1]、西山奈央子[1]、森田修平[2]、下直樹[2]、邊見弘明[1]、改正恒康[3]
和歌山県立医科大学医学部 先端医学研究所 生体調節機構研究部[1]、和歌山県立医科大学医学部 内科学第一講座[2]、
和歌山県立医科大学 産官学連携推進本部[3]

①-3. 自己反応性T細胞の組織ホーミング制御と病的T細胞標的ADCを基盤とする1型糖尿病治療法の開発

濵田源実、小口武琉、安永正浩
国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野

①-4. 肥満進展過程における循環マイクロRNAの時系列ダイナミクスから捉える代謝臓器の機能変容

小野木康弘[1]、和田努[1,2]、藤坂志帆[1,3]、武田隆太[2]、岩佐雄一[2]、藤生彩愛[2]、Muhammad Bilal[1]、恒枝宏史[1,2]、笹岡利安[1]、門脇真[1]、齋藤滋[1]、戸邉一之[1]
富山大学 未病研究センター[1]、富山大学 臨床薬品作用学[2]、富山大学 第一内科[3]

①-5. 平衡感覚を刺激する新規運動療法による糖尿病治療法の開発

阿部嵩志[1]、山形聡[2]、戸田知得[1]
熊本大学大学院 生命科学研究部 中枢性代謝制御学講座[1]、河北総合病院 糖尿病・内分泌代謝内科[2]

休憩　10:45 ～ 10:55

特別講演①　10:55 ～ 11:55　座長：**阪口 雅司**（熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学講座）

「リン脂質分解が司る生体機能」

平林 哲也
公益財団法人東京都医学総合研究所 先端基礎医科学研究分野 主席研究員

世話人会・昼休憩　11:55 ～ 13:00

セッション②　13:00 ～ 14:10　座長：**今井 淳太**（東北大学大学院医学系研究科 糖尿病代謝・内分泌内科学分野）
池田 賢司（東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学分野）

②-1. メンデルランダム化解析を用いた2型糖尿病と前立腺癌の因果関係の検討および媒介因子の探索

山中貴央[1]、佐藤元彌[1]、Ana Luiza Arruda[2,3]、Ozvan Bocher[2,4]、吉治智志[5,6,7]、庄嶋伸浩[1]、門脇孝[8]、Benjamin F. Voight[9,10,11,12]、Andrew P. Morris[13,14]、Eleftheria Zeggini[2,15]、山内敏正[1]、鈴木顕[1]
東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科[1]、Institute of Translational Genomics, Helmholtz Zentrum München[2]、Institute of Metabolic Sciences Epidemiology, University of Cambridge[3]、Univ Brest, Inserm, EFS, UMR 1078[4]、Programs in Metabolism and Medical and Population Genetics, Broad Institute of MIT and Harvard[5]、京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター[6]、McGill Genome Centre, McGill University[7]、虎の門病院[8]、Corporal Michael J. Crescenz VA Medical Center[9]、Department of Genetics, University of Pennsylvania Perelman School of Medicine[10]、Department of Systems Pharmacology and Translational Therapeutics, University of Pennsylvania Perelman School of Medicine[11]、Institute for Translational Medicine and Therapeutics, University of Pennsylvania Perelman School of Medicine[12]、Centre for Genetics and Genomics Versus Arthritis, Centre for Musculoskeletal Research, The University of Manchester[13]、NIHR Manchester Biomedical Research Centre, Manchester University NHS Foundation Trust, Manchester Academic Health Science Centre[14]、TUM School of Medicine and Health, Technical University of Munich University Hospital[15]

②-2. Carbonic anhydrase VIII regulates insulin secretion and hepatic glucose production

MUHAMMAD FAUZI[1]、村上隆亮[1]、臼井亮太[1]、Ainur Botagarova[1]、大谷大輔[1]、榊健太郎[1]、龍岡久登[1]、小倉雅仁[1]、Jonathan Campbell[2]、稲垣暢也[3]、矢部大介[1]
京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学[1]、Duke University[2]、医学研究所北野病院[3]

②-3. 膵島血流を介したGLP-1の新規作用機序の解明 〜in vivo imaging を用いた解析〜

金藤秀明[1]、木村友彦[1]、城所研吾[2]、岩本侑一郎[1]、真田淳平[1]、岩本秀幸[1]、段和徳[1]、杉崎俊友[1]、伊藤駿[1]、稲葉諒[1]、下田将司[1]、中西修平[1]、柏原直樹[2]、加来浩平[1]
川崎医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科学[1]、川崎医科大学 腎臓内科学[2]

②-4. 低脂肪食により急性MASHから肝癌を発症するマウスモデルを用いた代謝リプログラミングによる肝癌発症機序の解明

梶邑泰子[1,2]、田口昭彦[2]、藤岡侑香[2]、徳永良洋[2]、永尾優子[3]、廣重俊典[2]、淀川千佳[2]、藤澤浩一[4]、山本直樹[3]、高見太郎[5]、谷澤幸生[6]、太田康晴[2]
山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学[1]、山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学[2]、
山口大学 健康科学センター[3]、産業医科大学 産業生態科学研究所 快適環境部門 職業性腫瘍学[4]、
山口大学大学院 医学系研究科 消化器内科学[5]、山口大学[6]

②-5. HiBiTシステムを用いたグレリン分泌評価系の構築

延生卓也、齋藤巴望、上村百合香、藤井香乃、上田陽子、岩倉浩
和歌山県立医科大学 薬学部 薬物治療学講座

休憩　　14:10 〜 14:20

セッション③　14:20 〜 15:45

座長：藤坂 志帆（富山大学学術研究部医学系 第一内科）
西田 友哉（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

③-1. インスリン転写因子Mafaの新規発現制御機構の同定と解析

北将典、下直樹、森田修平、竹島健、松岡孝昭
和歌山県立医科大学医学部 内科学第一講座

③-2. スモールケージ飼育で生じるサルコペニア肥満様変化の病態と腸内細菌由来脂肪酸代謝物HYAによるその軽減効果

西垣智子[1]、平田悠[1]、野村和弘[2]、井上明也[1]、穂積かおり[1]、越智広樹[3]、澤田泰宏[4]、淺原俊一郎[1]、小川渉[1,5]
神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学[1]、徳島大学大学院 医歯薬学研究部 代謝栄養学分野[2]、
埼玉医科大学医学部 免疫学[3]、東京科学大学 総合研究院高等研究府 細胞情報学研究室[4]、
神戸大学大学院医学研究科 橋渡し科学分野 代謝疾患部門[5]

③-3. 膵島自律神経支配の三次元的解析と加齢・肥満・迷走神経刺激に伴う変化の検討

佐藤俊宏、今井淳太、川名洋平、遠藤彰、菅原裕人、木幡将人、清家準朗、駒村寛、高橋圭、金子慶三、片桐秀樹
東北大学大学院医学系研究科糖尿病代謝・内分泌内科学分野

③-4. ER stress drives loss of pancreatic β-cell identity through XBP1s- and ATF4-dependent transcriptional programs

Trang Thi Trinh、三宅雅人、親泊政一
徳島大学 先端酵素学研究所 生体機能学分野

③-5. 小胞体-ミトコンドリア接触領域MAMに局在するPP2Aβは褐色脂肪細胞の脂質合成・利用とオートファジーを調節する

岡﨑玲、池田賢司、田口邦之、石井遼子、兼田稜、青木惇、村上正憲、辻本和峰、小宮力、山田哲也
東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学分野

③-6. ZIP13はPDGFRα陽性間葉系間質細胞における鉄依存性コラーゲン成熟を介して骨格筋機能を制御する

島田正晴[1,2]、福中彩子[1]、林晋一郎[3]、西山晃[4]、寺内康夫[5]、野口悟[3]、上住聡芳[6]、滝沢琢己[2]、深田俊幸[7]、藤谷与士夫[1]
群馬大学生体調節研究所分子糖代謝制御分野[1]、群馬大学大学院医学系研究科小児科学[2]、
国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部[3]、横浜市立大学医学部医学科免疫学[4]、
横浜市立大学内分泌・糖尿病内科学[5]、九州大学生体防御医学研究所細胞不均一性学[6]、徳島文理大学薬学部病態分子薬理学[7]

休憩　　15:45 〜 15:55

特別講演②　15:55 ～ 16:55　**座長：森田 修平**（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）

「Selective IRE1α kinase inhibitors allosterically reduce RNase-mediated ER mRNA decay to combat insulin resistance and obesity-induced diabetes」

Feroz R. Papa, MD, PhD
Professor of Medicine, UCSF Diabetes Center, University of California, San Francisco; California Institute for Quantitative Biosciences (QB3)

休憩　16:55 ～ 17:00

奨励賞発表　17:00 ～ 17:25　**森田 修平**（和歌山県立医科大学 内科学第一講座）

閉会の辞　17:25 ～ 17:30　**西田 友哉**（順天堂大学大学院医学研究科 代謝内分泌内科学）

●アクセス

〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁25番地の1
https://www.wakayama-johall.jp/

